



NO.914
2014/4/6
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二一四四五八
F 四三二一四四五七

この冬の除雪費用2度の補正!

昨年の冬に続いて今年も降雪量が多く、除雪に大変苦労したと思います。12月と1月は例年より降雪が少ない状況でしたが、2月にはいつて流氷まつりの10日に吹雪になったのをはじめ、14日から断続的な降雪と暴風で猛吹雪となりました。

その後も週単位で雪が降り続け排雪が追いつかない状況が続きました。生活道路の交差点は高く積もった雪で見通しが悪く、市民からの苦情も寄せられました。

議会でもこの問題を取り上げましたが、現状は排雪のためのロータリー車が民間も含め3台しかなく、全市を排雪するには10日から2週間かかるということで、今年も週単位で降雪があり排雪が思うように進まなかったとの答弁でした。3月議会では2回にわたって補正予算が提案され可決されました。

この数年の降雪は、気候の変動を思わせる降り方をしていくとの声も寄せられています。また、除雪に対するご意見や要望などがたくさん寄せられています。

潮見に住む日さんは、交差点で左右が見えないため怖かった、せめて角だけでも削ってくられたら見通しが利くので、実施してほしいとの要望でした。議員団として、要望をもとに今後の除雪のあり方について検討して、市に要望して行きたいと述べています。

平成25年度の除雪費用

平成25年度の当初予算は、2億7757万9千円、内訳は除雪費が1億6803万2千円、除雪車管理費が2301万5千円、ロードヒーティングが

5643万2千円、除雪作業車整備費が3010万円でした。

しかし、断続的な降雪のため3月5日に1億4730万円、続いて3月25日に6500万円の補正で総額4億8987万9千円になりました。

この内、国による負担額は約2億1200万円ほどで、市の持ち出しは2億7787万9千円となります。



藤田洋子農業委員が表彰

3月28日に開かれた網走市農業委員会総会で、日本共産党の藤田洋子農業委員が、7期17年の長年にわたる農業委員活動に対して、北海道農業会議会長から表彰を受けました。

これは、3月26日開催の北海道農業会議第78回総会の席上で表彰式があり、乾英二網走市農業委員会会長が、代理として受け取り、この日、藤田農業委員に伝達されました。

この表彰について、松浦敏司党網走市委員長は、藤田農業委員は、唯一の女性農業委員として、土地の斡旋をはじめ農家の相談相手として活躍してきました。その活動が認められ日本共産党としても長年のご苦勞に、心からの敬意を表したいと述べました。

いよいよ東奔西走?

最悪の税金、消費税が5%から8%に上げられました。消費税が、商品であれ、サービスであれ、取引のたびごとに課税される税金であることは導入時も現在も変わっていません。

せめて食料品など生活必需品は課税の例外という声さえ歴代政権は踏みにつけています。所得がなくとも生活に必要なもの全てに課税されているため、否応無く取られてしまう最悪の税金と言われる所以です。

今回の3月議会でも増税議論をしましたが、水道料金にも転嫁するので8%は取られます。そのうえ、昨年末に平均8%の料金値上げをしているのでダブルパンチそのものです。

旭川市は3%は転嫁はするものの、転嫁分を減免基準をつくり、生保世帯、障がい者世帯、児童手当受給世帯、70歳以上の独居の人達など生活弱者の方々を該当させて救済措置をつくり悪政の防波堤になっています。

網走でも減免を考えてはと言ってもだめでしたが今後も議員団として要求し、その実現のため頑張ります。

松浦奮戦メモ

3月30日付のしんぶん赤旗日曜版に武村正義元内閣官房長官と藤井裕久元財務大臣が一面で安倍改憲許さないと言っています。

歴代政権が憲法違反としてきた集団的自衛権を閣議決定で認めるといふ安倍政権に対し、国民の批判の声が広がっています。武村氏は、集団的自衛権の行使容認とは、憲法9条の規定でできなかった「海外での戦争」を、日本が攻められていない場合でもできるようにすることです。

しかもその手法は、安倍首相が好きなたちを集めた安全保障懇話会で議論させ、出した答申を首相が任命した閣議決定して終わりだという。こんな軽々しく憲法の大原則を変えられてはたまらないと述べています。藤井氏も安倍首相の集団的自衛権の行使に向けた憲法解釈の変更は許しがたい。再び日本を「戦争をする国」にしようと言っているのか。再び日本を「戦争をする国」にしようと言っているのか。立憲主義について安倍首相は基本的に理解していないと厳しく批判しています。

国民の声を大きく広げて、この企てを阻止しましょう。

流水

生まれてすぐ使う産湯、そして産衣、寝かせられる布団、ミルク、えんぴつ、消しゴム、ノート、灯油にガソリン、パン、お米、ビール、魚も野菜も肉も、風邪薬、シップも、そして最後に棺桶の果てまで、文字通り生まれてから死ぬまで払わなければならぬのが、消費税。いや、ちょっと違う。生まれる前から死んだ後までとられているか、この税金、極めてたちが悪い。年収? 億円の人も、百万円の人も、トイレットペーパーを買うけれど、払う消費税は同じ。大金持ちは金粉入りのペーパーを使うなんてないものね、さらにたちが悪いのは、年収がなくても、買い物したら、水道使ったら、電気使ったら、税金払う仕組みになっているということ、この消費税が5%から8%に引き上げられた。(網走市でも消費税増税の凍結を求める市議会請願が採択されなかった) ▼安倍政権は「社会保障のため」という政府広報を全国の家庭には配布した。12億円かけて。それを見て「嘘っぱちだ」とすぐ思った。だって、年金は下げ、老人医療費増、生活保護費切り下げ、などで2兆円も国民負担が増えるのに、増税の半分以上は大型公共事業に使われるのだから、その上で来年10月から消費税を更に10%に引き上げる予定だという。民主党政権時代に自民党と公明党との「3党協議」で決めた「改革」をこれ以上許すことはできません。ストップブレキのない安倍暴走車!(0)